



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は4月2日(水) 第2597回例会 ■

四大祝福、会員卓話 松原重俊地区出向者担当
地区ロータリー財団委員長
「地区に出向して」 松原重俊 会員
※RCレート 4月1日より 1\$ 150円

■ 次週の予定 ■

4月9日(水) 会員卓話 松原重俊会長エレクト担当
第2598回 「PETS報告」 松原重俊会長エレクト
4月16日(水) ゲスト卓話
第2599回 瓜 俊雄R情報会員選考委員長担当

第2596回例会記録 2025年(令和7年)3月19日(水) 晴れ「4つのテスト」唱和「奉仕の理想」斉唱

- ・ゲスト紹介 砂川市教育委員会 学校再編課
副審議監 篠崎 強 様
- ・ビジター紹介 本日はいらっしゃいません。

会長報告

会長 高坂 誠

- ①国際ロータリー第2510地区RYLA委員会より「第22回RYLAセミナーin栗山雨煙別小学校」のご案内が届いております。
- ②国際ロータリー第2510地区より「令和7年大船渡大規模山林火災義捐金」のお願いが届いております。

幹事報告

会長 中村 和弘

- ①羽幌ロータリークラブより2月会報が届いております。

委員会報告

親睦活動委員会 委員長 吉藤 秀邦

先日3月13日、三クラブ麻雀大会に参加された会員の皆様、ご苦勞様でした。おかげ様にて、団体優勝を獲得する事ができました。また、個人としては、造田会員が優勝、石家会員が準優勝の栄誉を奪還致しました。心よりお祝い申し上げます

私自身、砂川ロータリーに入会した当初の麻雀大会以来、久しぶりに牌を握ったのですが、楽しいひと時を過ごさせていただきました。一回戦、二回戦と戦績が思わしくなく、最後は、ただの酔っ払いとなった方もおりましたが、砂川ロータリークラブの会員は紳士的に振舞っていた？ように感じております。いずれにせよ、とても有意義な交流会であった事は間違いのない事実であったとお伝えし、ご報告とさせていただきます。以上です。

例会

ゲスト卓話

山崎副会長担当

砂川市教育委員会 学校再編課
副審議監 篠崎 強 様

「来年4月開校の砂川学園について」

小中学校適正配置の取組に関心を寄せていただき、誠にありがとうございます。



来年4月に開校する砂川学園について、既に決定されたことをご説明しますが、まずは根底にある「小中学校適正配置」に触れます。

「児童生徒数の推移と予測」のとおり、昭和36年には小中学生合わせて7,583人でしたが、昨年4月には約9分の1の840人となり、小学校では大半が1学年1クラス、複式もあります。こうした中、国の基準では適正規模が12から18学級であることも踏まえ、「砂川市立小中学校適正配置基本方針」を策定して、小学校は12学級以上、中学校は9学級以上と決めました。この方針がベースとなって、その後、令和5年度に中学校2校を統合し、令和8年度に小学校5校と中学校を1つにした義務教育学校を開校することとしました。

ここからは砂川学園についてご説明します。まず、工事の状況や今後の予定をお知らせします。《平面図をもとに説明》義務教育学校は北海道内に27校ありますが、砂川学園は児童生徒数が約760人で、実は道内最大となる見込みです。

次に砂川学園開校に向けて決定されたことをご説明します。まず、校名は「砂川市立砂川学園」と昨年の3月議会で議決されました。公募のうえ3案に絞り、児童生徒にアンケートを行って一番多かった名前です。

校章はご覧のデザインに決定しました。砂川中学校の美術部に3案を制作いただき、児童生徒による

アンケートで一番多かったものが採用されました。

制服・ジャージは小中学校のPTAの皆様のご意見も踏まえて3案を作り、やはり児童生徒、保護者のアンケートで一番支持を得たものにしました。砂川学園開校時の7年生から着用することになります。

次に、砂川学園開校と同時に大きく変わるものとして、スクールバスがあります。現在は中学生の3台で運行していますが、今度は1年生から乗りますので、安全に運行することは大きなテーマです。これまでの検討から、対象者は自宅からの距離が4年生までは2km以上、5年生以上は3km以上とすること、図のとおり経路は8本、停留所は15か所、中型バスを現在の3台に加え新たに5台購入すること、登下校の空き時間は社会見学などの学校教育活動で活用することなどを決めています。

次に、交流事業ですが、小学生は、中学校の授業や、多くの人と初めて出会うことへの不安があると思いますので、これを軽減するために、小学校と中学校または小学校同士の交流行事を行っています。5校合同の遠足や学年ごとの交流会、小学生が中学校を訪問して授業を受ける乗り入れ授業など、令和7年度も同様に行っていきます。

ここからは、砂川学園の教育の特徴をご説明します。まず、大きな目標や何を指すか、ですが、校長先生方の話し合いから「学校教育目標」「目指す子どもの姿」「目指す学校の姿」を記載のとおりとし、「育成を目指す資質・能力」は「粘り強さ」「あいさつ」など12の「力」にしました。これは、砂川市の児童生徒に関する各種調査数値と、全小中学校の児童生徒などに行ったアンケートを踏まえて設定したものです。

次は「4・3・2制」で、これも砂川学園の大きな特徴です。小学校6年、中学校3年という区分ではなく、1から4年生は1stステージ、5から7年生が2ndステージ、8・9年生を3rdステージと分けます。特に2ndステージが重要で、小学校から中学校に進学した際に、学習や生活、人間関係が様変わりして悩みを抱える「中一ギャップ」がありますが、これをなだらかにするものです。2ndステージでは、50分授業や教科担任制を一部取り入れて中学生の授業形態に近づけていきます。

続いて、これも大きな特徴として「小中一貫教育」があります。砂川学園開校と同時に始めるのではなく、実は令和7年度から本格実施して、砂川学園でさらに進展させます。詳細は資料をご覧ください。小中一貫教育は全国的に導入する学校が増えており、北海道内でも179市町村のうち、小中一貫教育導入と義務教育学校設置を合わせると44市町村、約4分の1の市町村が導入しています。

最後に砂川学園の主な行事と対象学年を一覧表にまとめました。特徴を2点だけ挙げますと、1点目は全学年で4月から9月の前期、10月から3月の後期、という2学期制にすることであり、通知表は年2回、9月と3月にもらいます。もう1点は、4・3・2制になりますので行事もその区分で行われるものがあることです。例えば、運動会は4年生以下、体育祭は5年生以上、と別々に行う予定です。

以上、小中学校適正配置に関わる取組や砂川学園の特徴などをご紹介しました。今後も決めなければならないことや準備しなければならないことが多くありますが、開校まで残り約1年、子ども達により良い環境において、より質の高い教育を提供することを目標に準備を進めますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

出席報告

委員長 堀江 和美

第2596回例会

※在籍数 42名 ※出席規定免除 2名

※本日出席基数 41名 ※本日欠席者数 6名

※本日出席率 87.80%

※本日欠席者 佐藤文優会員、阿部憲道会員
山田 大会員、磯村賢一会員、俵谷 薫会員

ニコニコボックス

※3/13三クラブ麻雀大会、皆様ありがとうございました。また、本日卓話頂きました篠崎様、ありがとうございました。

○高坂 誠会長

※篠崎副審議官お疲れ様でした。 飯澤明彦会員

※久しぶりに麻雀大会優勝させて頂きました。

○造田孝志会員

※お忙しい中、篠崎様に卓話を頂きありがとうございました。

○山崎義彦会員

※頑張りました。3クラブマージャン大会で準優勝しました。造田名人には敵いません。勉強になりました。

○石家裕二会員

※学校再編課篠崎様にお越しをいただき。

松原重俊会員

※久しぶりの麻雀楽しかった。 吉藤秀邦会員

本日のニコニコBOX 26,000円 累計額 1,195,000円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会：目標 14,000円/人

本日 0円 累計 396,000円

※ロータリー財団：目標 230\$/人

本日 0\$ 累計 4,260\$

ガバナー月信

QRコード



本号担当：香山素子 次号担当：飯澤明彦

事務局：砂川パークホテル内 (Tel.0125-52-3989)

会長 高坂 誠 幹事 中村 和弘

欠席届は前日昼迄に大橋俊彦SAAまで (Tel.74-6163・FAX74-6164)